

製品保証書

この度は、弊社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。当製品は、厳密な品質管理のもとお届けしておりますが、万一、保証期間内に故障した場合には、アフターサポート規定に基づき修理をさせていただきます。

保証期間：お買い上げ日より3年間

アフターサポート規定

- 取扱説明書・本体注意ラベル・タグにしたがった正常な使用状態で保証期間内に故障した場合は、無料で修理させていただきます。但し、スクリーン、スラット部は対象外です。また、弊社が指定する消耗部品(コード類)の無料修理サービスはお買い上げから1年以内とさせていただきます。無料修理サービスをご依頼になる場合は、メンテナンスシールをご確認のうえ、お買い上げの販売店へご依頼ください。転居などにより、お買い上げいただいた販売店が不明な場合は、弊社お客様相談室へお問い合わせください。
- 保証期間内でも次の場合は有料修理サービスとなります。
 - (イ) 本書の提示が無い場合。
 - (ロ) お買い上げ後の輸送、落下などによる故障、損傷。
 - (ハ) 使用上の誤り、又は不当な修理や改造もしくは、純正部品以外の使用による故障、損傷。
 - (ニ) 火災・地震・雷・風水害その他天災地変など、外部要因による故障及び損傷。
 - (ホ) 特殊環境(強度の湿気、煙害、薬品のガス、公害)による故障及び損傷。
 - (ヘ) お買い上げ後の取付け場所の移動による故障及び損傷。
 - (ト) 当社カタログに記載している仕様以外の製品についての故障及び損傷。
- 本書は、日本国内においてのみ有効です。

トーソー株式会社 本社 〒104-0033 東京都中央区新川1-4-9

トーソー株式会社 ◎お客様相談室 tel. 03-3552-1002

本社 〒104-0033 東京都中央区新川1-4-9 ホームページアドレス <http://www.toso.co.jp>

TOSO

ローマンシェード

クリエティコード 平窓・出窓

取扱説明書 No. S-140018

初版

取扱説明書(保証書付き)

このたびは、弊社製品をお買い上げいただきありがとうございます。
安全にご使用いただくために良くお読みいただき、大切に保管してください。

販売店様・施工業者様へのお願い

本書は、お客様が本製品を適切にご使用いただくための説明・注意事項が記載されております。必ずお客様にお渡しください。

目次

■ 安全上のご注意	2
■ 製品全体図及び部品名称	4
■ スタイル	6
■ 製品の取付け/取外し方法	7
■ 操作方法	10
■ お手入れ方法	11
■ 幕体の左右高さの調整方法	17
■ マーキングについてのおことわり	18
■ セーフティー仕様について	18
■ メンテナンスシール	19
■ 梱包材の処理方法	19
■ 製品保証書	20

安全上のご注意（必ずお守りください）

※ 本書は、お買い上げいただいた製品を安全にご使用していただくために特に注意していただくことを表示してあります。取付け前に必ずお読みいただき、適切な取扱いをお願い致します。

- 本書では、表示内容を無視して誤った使い方をした時に生じる、危険や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。



警告

製品の取扱いを誤った場合、死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度を示しています。



注意

製品の取扱いを誤った場合、傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度を示しています。

- 本書では、お守りいただく内容の種類を、次の図記号で区分し説明しています。



製品の取扱いにおいて、その行為を「禁止」する図記号です。



製品の取扱いにおいて、指示に基づく行為を「強制」する図記号です。

■ 取付け上のご注意（取付け前に必ずお読みください）



警告

- 付属のブラケット取付けネジは木部用です。木部以外には使用しないでください。
- ❗ 本製品を取付ける下地の強度や材質を確認し、施工してください。確実に下地に取り付けていない場合は落下の原因になります。
- ❗ 取扱説明書に記載されているブラケット取付け数量と取付け位置は必ずお守りください。本体が落下する恐れがあります。



注意

- 本製品は屋内用です。屋外へは取付けしないでください。
- 高温多湿の条件下や水に濡れることが予想される場所へは取付けしないでください。
- ❗ 製品は、水平に取付けてください。



■ 使用上のご注意（ご使用前に必ずお読みください）



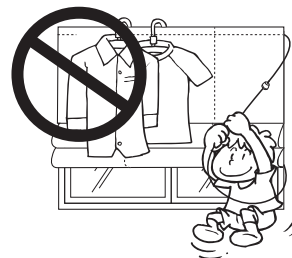
警告

- コードが体に巻きついたり、引っ掛かるようなことをしないでください。事故の恐れがあります。

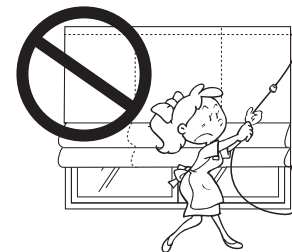


日本ブラインド工業会

- 製品に物を吊り下げたり、ぶら下がらないでください。製品が破損したり、落下する恐れがあります。

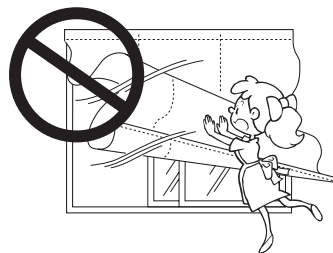


- 急激な操作や無理な操作は、絶対におやめください。製品の落下や、破損などの恐れがあります。



注意

- 強風の時は、必ず窓を閉めるか幕体をたたみ上げた状態にしてください。



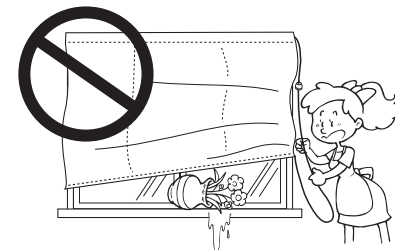
- メカ部の分解や可動部への注油は、破損や故障の原因となりますので絶対におやめください。

- 火のそばでのご使用は絶対におやめください。

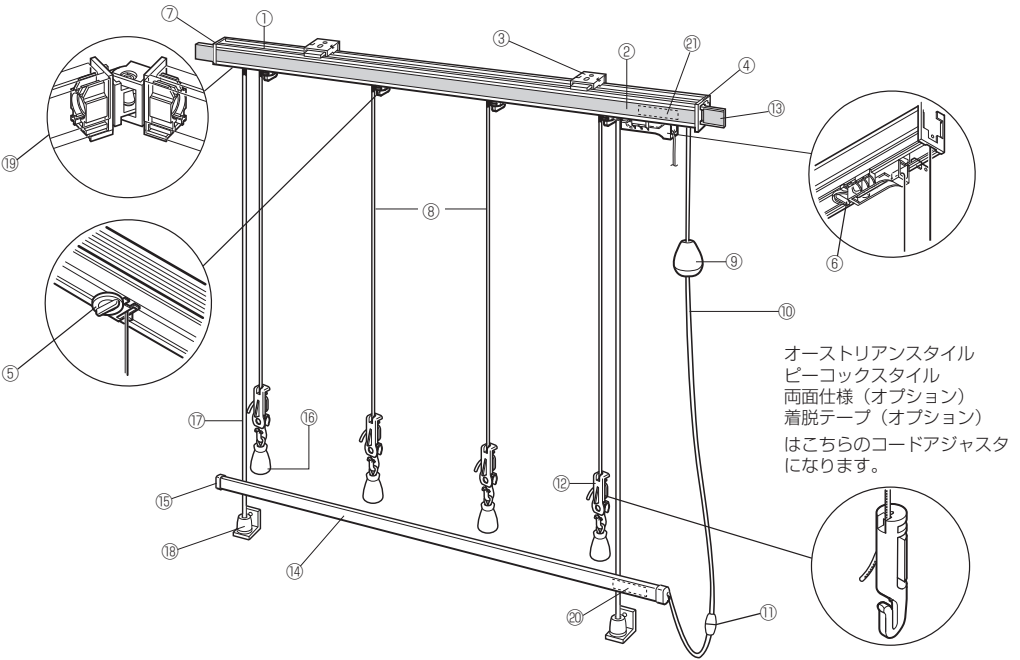


- 必ず操作コードを持って操作を行ってください。幕体やウエイトバーを持って操作を行わないでください。

- 昇降動作の範囲内に破損の恐れがある物や操作の障害となる物を置かないでください。



製品全体図及び部品名称



部品名	
①ヘッドレール	⑫コードアジャスタ
②挿入式マジックテープ	⑬リターン(出窓各スタイル)
③ブラケット	⑭ウエイトバー(プレーン・シャープ・フォールド)
④ストッパーケース(ストッパー本体)	⑮ウエイトバーキャップ(プレーン・シャープ・フォールド)
⑤コードガイド(コードガイドA/B)	⑯ウエイト(バレーン・オーストリアン・ルース・ムース・ピーコック・サイドバレーン)
⑥ストッパーガイド(幅～290mmの場合)	⑰ガイドコード(オーストリアン)
⑦キャップ	⑱ガイドコード止め金具(オーストリアン)
⑧昇降コード	⑲コーナージョイント(出窓各スタイル)
⑨コード止め	⑳メンテナンスシール(プレーン・シャープ・フォールド)
⑩操作コード	㉑メンテナンスシール(バレーン・オーストリアン・ルース・ムース・ピーコック・サイドバレーン)
⑪セーフティジョイント	

■ 付属部品
● クリエティコード平窓

部品名 製品幅 (mm)	ブラケット※	ブラケット取付けネジ (ナベφ3.5×20)
	〈正面付け・天井付け共通ブラケット〉 〈天井付けブラケット〉	
～1200	2 個	2 本
～2000	3 個	3 本
～2700	4 個	4 本

※通常は正面付け・天井付け共通ブラケットが入っています。
ご注文時に指定があった場合のみ、天井ブラケットが入っています。

● クリエティコード出窓

部品名 製品幅 (mm)	ブラケット	ブラケット取付けネジ (ナベφ3.5×20)
	〈天井付けブラケット〉	
2・3 連	～2000	4 個 4 本
2・3 連	～2700	5 個 5 本

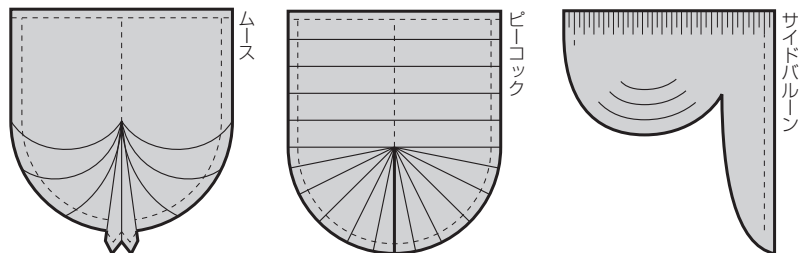
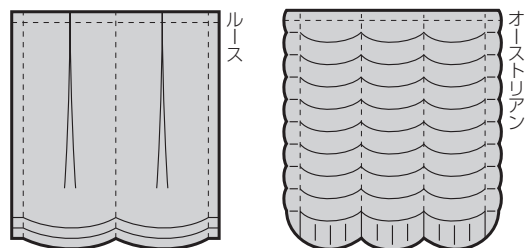
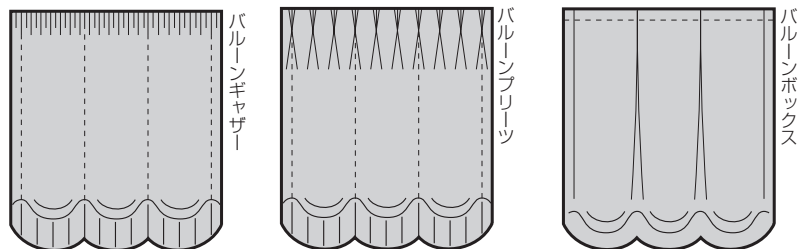
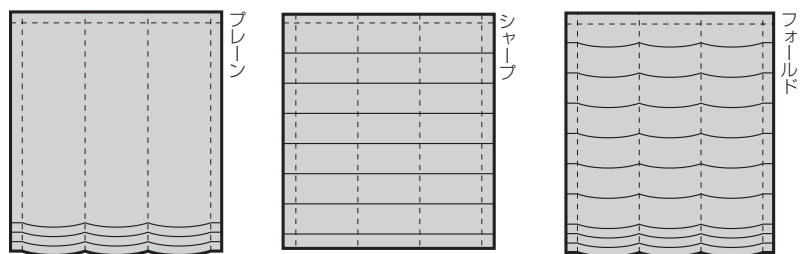
● オーストリアンの場合

ガイドコード止め金具	ガイドコード固定ネジ (ナベφ4×6)	ガイドコード取付けネジ (ナベφ3×20)
2 個	2 個	4 本

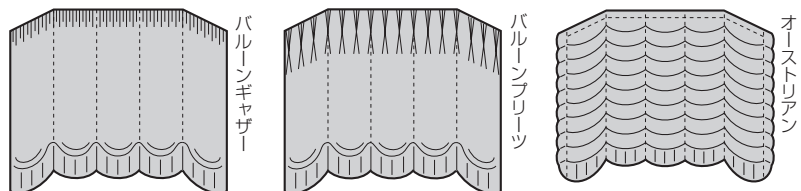
■ 製品重量 1.3kg(プレーンスタイル幅2000mm×高さ 2000mmの場合)
※ 幕体の重量は含みません。

スタイル

■ 平窓



■ 出窓



製品の取付け/取外し方法

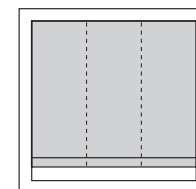


注意

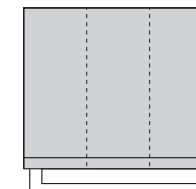
⊘ 付属部品の取付けネジは木部用です。木部以外には使用しないでください。

■ 取付けの種類

〈天井付け〉
窓枠の内側に取付ける方法

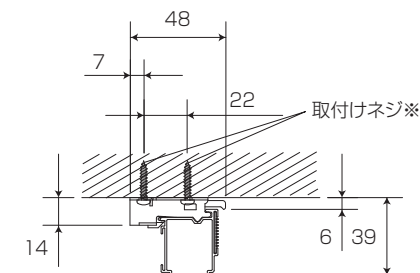
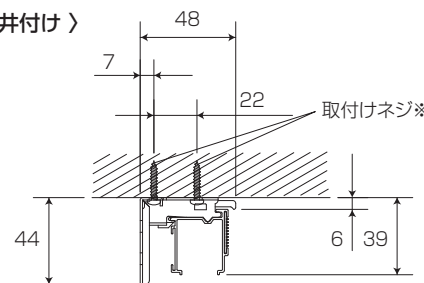


〈正面付け〉
窓枠の外側に取付ける方法

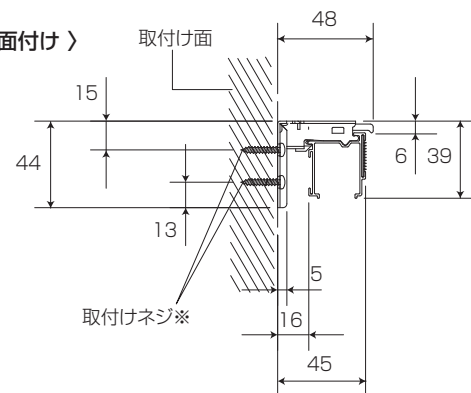


■ 取付け寸法図(mm)

〈天井付け〉



〈正面付け〉



※出窓の場合は天井付けのみとなります。

※取付けネジは下地位置の状況に応じて図のどちらかの位置に取付けてください。

※幅が2010mmを超える製品を正面付けする場合は、ブラケットの上のネジ穴で固定してください。

平窓の場合

■ ブラケットの取付け位置

- 両側のブラケットは、ヘッドレール両端から約10cmの位置に取付けネジ(ナベφ3.5×20)で取付けてください。

※ 製品幅1210mm~の場合は、ブラケットが3個以上必要となりますので、それぞれ等間隔になるように取付けてください。

■ ヘッドレール(本体)の取付け/取外し方法 〈取付け方法〉

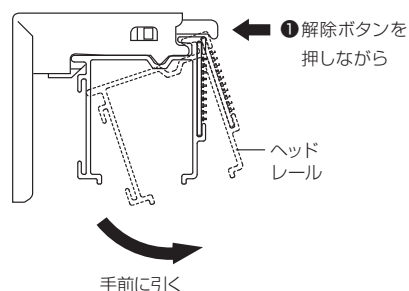
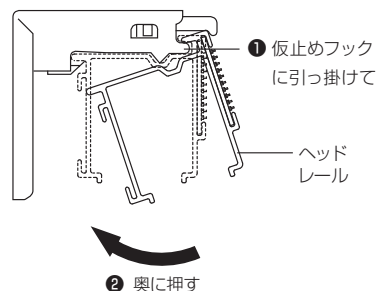
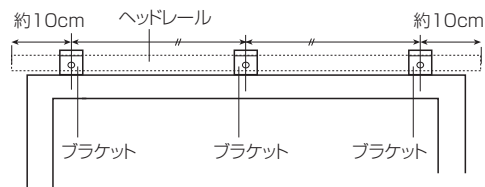
- ① ヘッドレールをブラケットの仮止めフックに引っ掛けてください。
- ② 本体を奥に「カチッ」と押し込んでください。

〈取外し方法〉

- ① ブラケットの解除ボタンを押し、ヘッドレールを手前に引いてください。
- ② 本体を仮止めフックから外してください。

⚠ 注意

- ❗ 本体取付け後、確実に本体がブラケットに固定されているか確認してください。



出窓の場合

■ ブラケットの取付け

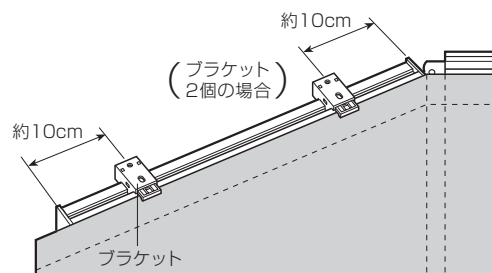
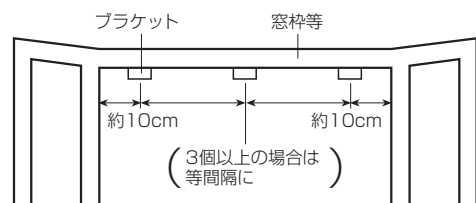
- ① 正面またはいちばん大きい面のブラケットを取付けネジ(ナベφ3.5×20)で両端より約10cmの位置に取付けてください。

※ 3個以上の場合は、等間隔になるように取付けてください。

- ② 側面または小さい面は、ブラケットをあらかじめヘッドレールに取付けてください。

※ 1個の場合は端から約10cm、2個の場合は両端から約10cmの位置に取付けてください。

※ ブラケットのヘッドレールへの取付け、取外しはP.8「平窓の場合」のヘッドレール(本体)の取付け、ヘッドレール(本体)の取外し方法を参照してください。



■ ヘッドレール(本体)の取付け方法

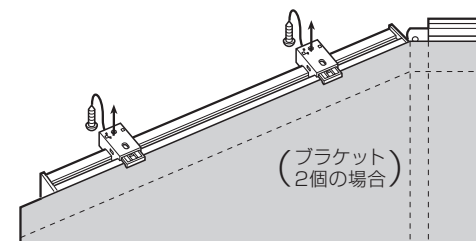
- ① 正面または、いちばん大きい面のブラケットにヘッドレールを取付けてください。(P.8「平窓の場合」のヘッドレール(本体)の取付け方法参照)
- ② 側面または小さい面は、ヘッドレールに取付けたブラケットを直接取付けネジ(ナベφ3.5×20)窓枠等に取付けてください。

※ コーナーにシワが出た場合は幕体を一度はがして、はり直してください。

※ 両端の隙間が無くなるように、リターンを角度を調整してください。

⚠ 注意

- ❗ 本体取付け後、確実に本体がブラケットに固定されているか確認してください。



平窓・出窓共通 (オーストリアンスタイルの場合のみ)

■ ガイドコードの取付け方法

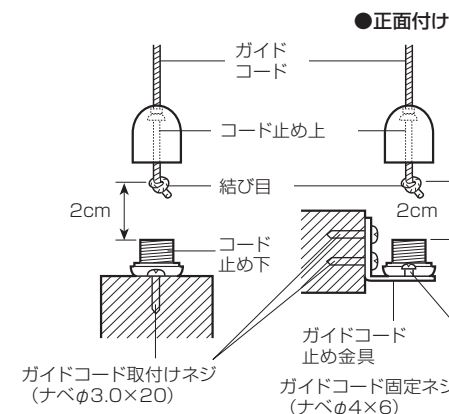
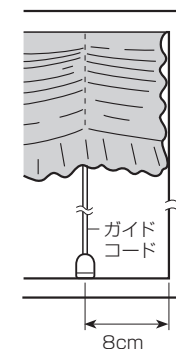
- ① 両端のガイドコードを垂直に降ろした位置(ヘッドレール端より8cm)にコード止め下をガイドコード取付けネジ(ナベφ3×20)で取付けてください。

※ 正面付けの場合は、ガイドコード止め金具をガイドコード取付けネジ(ナベφ3×20)2本で取付けてからコード止め下をガイドコード固定ネジ(ナベφ4×6)で取付けてください。

- ② ガイドコードを真下に軽く引き、コード止め下より約2cmの位置になるところで、結び目をつくるようにしてください。(余分なコードはカットしてください。)

- ③ コード止め下にコード止め上を回して固定してください。

※ ゆるくなったらさらにガイドコードを約5mmづつ短くして、適度な張りになるよう調整してください。



操作方法

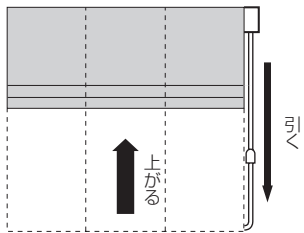


注意

- ❗ 幕体の昇降操作は必ず操作コードで行ってください。
- ❗ 幕体を降ろすときは必ず操作コードに手を添えて操作してください。途中で手を離すと幕体が勢いよく降りることがあり危険です。

■ 幕体の上げ方

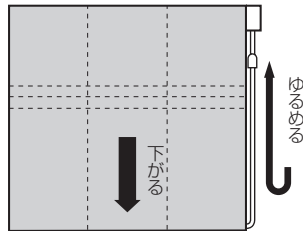
操作コードを引き、止めたい位置でゆるめると止まります。



- ストッパーのストップと解除は交互に作動します。

■ 幕体の降ろし方

操作コードを5cmほど引き、次にゆるめると下がります。



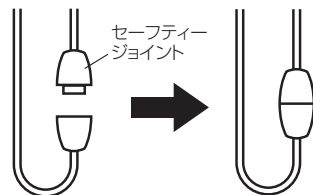
■ セーフティジョイントについて



警告

- ⊘ お子様を操作コードで遊ばせないでください。首や体に巻き付く等して思わぬ事故を招く恐れがあります。

- セーフティジョイントは操作コードがお子様の首や体に巻き付いた場合、危険を回避する為に、操作コードを分離させるための部品です。
- セーフティジョイントに力がかかったり、セーフティジョイントの近くを持って操作すると、セーフティジョイントが外れます。セーフティジョイントが外れた場合は、そのまま使用せずに、再びはめ直してからご使用ください。



お手入れ方法

幕体のお手入れについて

- 幕体裏面の取扱い方法を記載したラベルを確認してください。
- 洗濯絵表示ラベルが付いている場合は、ラベルの記載内容にしたがってください。
- お手入れ方法ラベルが付いている場合は、ラベルの記載内容にしたがってください。

■ 幕体の取外し方法

ブレーススタイルの場合

※ 以下の位置にあらかじめペンで印をつけておくと、後で幕体の取付けがしやすくなります。その際、幕体をペンで汚さないようにご注意ください。

- 昇降コード……………コードアジャスタ上端部の位置。

- 1 幕体を降ろしてください。
- 2 コードアジャスタから昇降コードをほどいて、コードアジャスタをループ付きテープから取外してください。

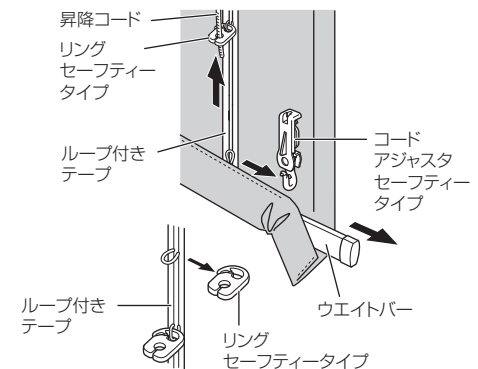
※ コードアジャスタは無くさないように保管しておいてください。

- 3 ウェイトバーを幕体より取外してください。

- 4 ヘッドレールから幕体を取外してください。

- 5 ループ付きテープからリングを取外してください。

※ リングは無くさないように保管しておいてください。



シャープ・フォールドスタイルの場合

※ 以下の位置にあらかじめペンで印をつけておくと、後で幕体の取付けがしやすくなります。その際、幕体をペンで汚さないようにご注意ください。

- 昇降コード……………コードアジャスタ上端部の位置。

- シェイパーテープ……………コードアジャスタを取付けている位置。
リングを取付けている位置。

- 1 幕体を降ろしてください。
- 2 コードアジャスタから昇降コードをほどいて、コードアジャスタを幕体から取外してください。

※ コードアジャスタは無くさないように保管しておいてください。

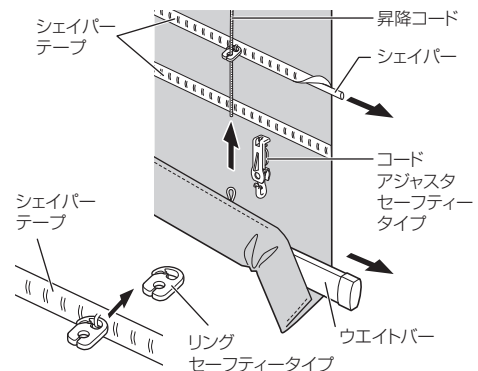
- 3 ウェイトバー、シェイパーを取外してください。

※ シェイパーは無くさないように保管しておいてください。

- 4 ヘッドレールから幕体を取外してください。

- 5 シェイパーテープからリングを取外してください。

※ リングは無くさないように保管しておいてください。



バルーン、オーストリアン、ルース、ムーススタイルの場合

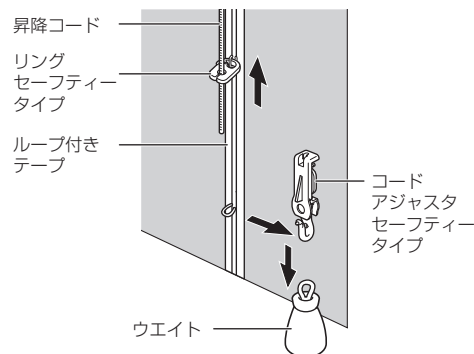
※以下の位置にあらかじめペンで印をつけておくと、後で幕体の取付けがしやすくなります。その際、幕体をペンで汚さないようにご注意ください。

●昇降コード…コードアジャスタ上端部位置。

- 1 幕体を降ろしてください。
- 2 コードアジャスタからウエイトを除外してください。
- 3 コードアジャスタから昇降コードをほどいて、コードアジャスタをループ付きテープから取外してください。
- 4 ヘッドレールから幕体を取外してください。
- 5 ループ付きテープからリングを取外してください。
(P.11 幕体の取外し方法、プレーンスタイルの場合参照)

※リングは無くさないように保管しておいてください。

※オーストリアンスタイルはコード止め上をまわして、ガイドコードを取外してください。(P.9ガイドコードの取付け方法参照)



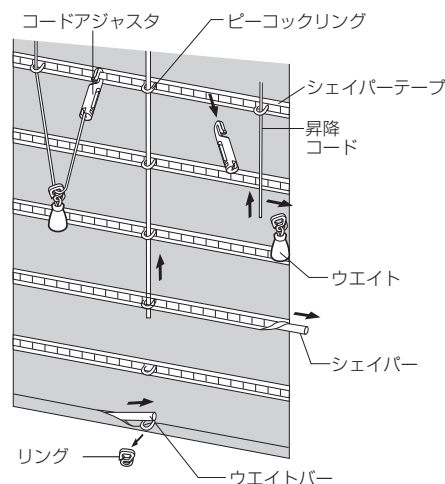
ピーコックススタイルの場合

※以下の位置にあらかじめペンで印をつけておくと、後で幕体の取付けがしやすくなります。その際、幕体をペンで汚さないようにご注意ください。

●昇降コード…コードアジャスタ上端部の位置。

●シェイパーテープ…コードアジャスタを取付けている位置。

- 1 幕体を降ろしてください。
 - 2 リングおよびコードアジャスタから昇降コードをほどいてください。
 - 3 コードアジャスタと最下部のリングを取外してください。
 - 4 ウェイトバー、シェイパーを取外してください。
- ※ウェイト、リング、コードアジャスタ、ウェイトバー、シェイパーは無くさないように保管しておいてください。
- 5 ヘッドレールから幕体を取外してください。



サイドバルーンスタイルの場合

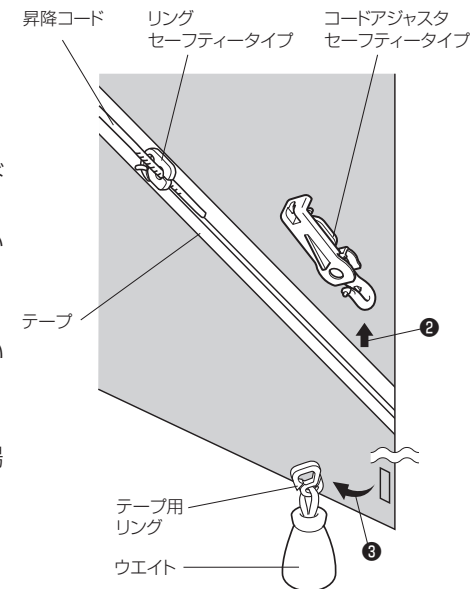
※以下の位置にあらかじめペンで印をつけておくと、後で幕体の取付けがしやすくなります。

その際、幕体をペンで汚さないようにご注意ください。

- 昇降コード…コードアジャスタの上端部
- テープ…リングが付いている位置

- 1 幕体を降ろしてください。
- 2 コードアジャスタから昇降コードをほどいて、コードアジャスタをテープから取外してください。
- 3 ウェイトをウェイトについているリングごと、幕体から取外してください。
- 4 ヘッドレールから幕体を取り外してください。
- 5 昇降コードはコードガイド、ストッパーから抜けないように注意してください。
- 6 テープからリングを取外してください。
(P.11 幕体の取外し方法、プレーンスタイルの場合参照)

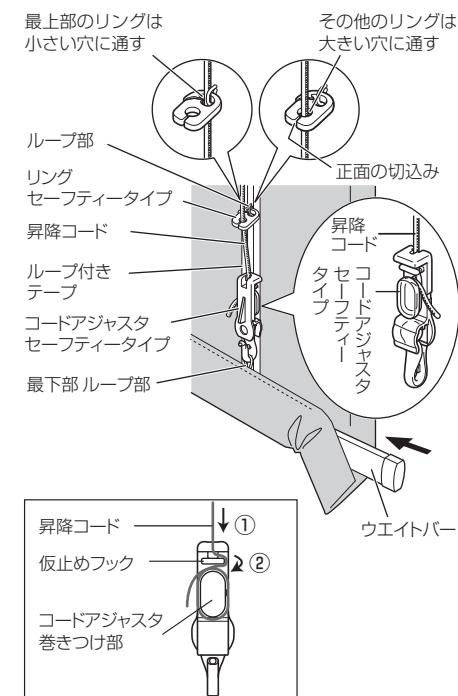
※リングは無くさないように保管しておいてください。



幕体の取付け方法

プレーンスタイルの場合

- 1 ヘッドレールに幕体を取付けてください。
 - 2 リングの小さい方の穴をループ付きテープのループ部に取付けてください。
 - 3 最下部のループ部へは、コードアジャスタを取付けてください。
 - 4 ウェイトバーを幕体に差し込んでください。
 - 5 最上部のリングについては、リングの小さい方の穴に昇降コードを通してください。
 - 6 その他のリングについては、リングの大きい方の穴に昇降コードを通してください。幕体上部から順に通します。万が一通し忘れた場合には、リング正面の切込みから昇降コードを入れることもできます。
 - 7 コードアジャスタの上部から昇降コードを通し(①)、固定位置をコードアジャスタ上部に合わせてください。コードは、仮止めフックに引っ掛けて反対側の方向に振ると(②)仮止めができます。余った昇降コードをコードアジャスタに巻きつけてください。
- ※昇降コードの固定位置はもともとコードを巻きつけた所(あるいはペンで印をつけた所)を目安にしてください。



シャープ・フォールドスタイルの場合

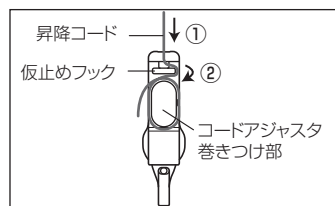
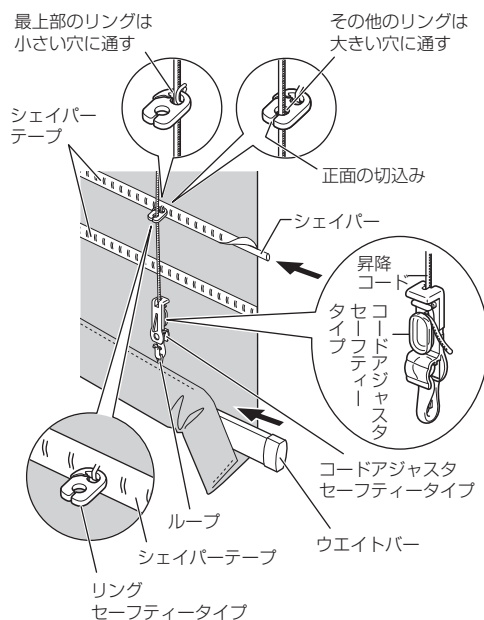
- ① ヘッドレールに幕体を取付けてください。
- ② コードアジャスタを最下部のループに取付けてください。
- ③ シェイパーをシェイパーテープに差し込んでください。
- ④ ウェイトバーを幕体に差し込んでください。
- ⑤ シェイパーテープにリングを取付けてください。

※リングを取付ける位置は幕体を取外す際に印をつけておいてください。(P.11 参照ください)

- ⑥ 最上部のリングについては、リングの小さい方の穴に昇降コードを通してください。
- ⑦ その他のリングについては、リングの大きい方の穴に昇降コードを通してください。幕体上部から順に通します。万が一通し忘れた場合には、リング正面の切込みから昇降コードを入れることもできます。

- ⑧** コードアジャスタの上部から昇降コードを通して①、固定位置をコードアジャスタ上部に合わせてください。コードは、仮止めフックに引っ掛けて反対側の方向に振ると②仮止めができます。余った昇降コードをコードアジャスタに巻きつけてください。

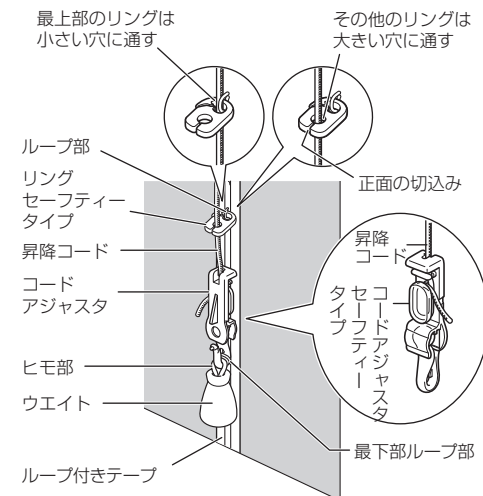
※昇降コードの固定位置はもともとコードを巻きつけた所(あるいはペンで印をつけた所)を目安にしてください。



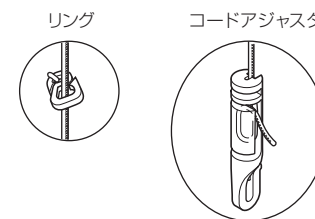
バルーン・オーストリアン・ルース・ムーススタイルの場合

- ① ヘッドレールに幕体を取付けてください。
- ② リングの小さい方の穴をループ付きテープのループ部に取り付けてください。
- ③ 最下部のループ部へは、コードアジャスタを取付けてください。
- ④ 最上部のリングについては、リングの小さい方の穴に昇降コードを通してください。
- ⑤ その他のリングについては、リングの大きい方の穴に昇降コードを通してください。幕体上部から順に通します。万が一通し忘れた場合には、リング正面の切込みから昇降コードを入れることもできます。

※ オーストリアンスタイルの場合、全てのリングに対して大きい方の穴に昇降コードを通してください。リングの横の切り込みから昇降コードを入れることもできます。

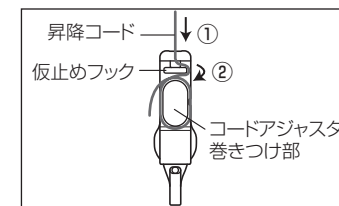


オーストリアンスタイル用



- ⑥ コードアジャスタの上部から昇降コードを通し(①)、固定位置をコードアジャスタ上部に合わせてください。コードは、仮止めフックに引っ掛けて反対側の方向に振ると(②)仮止めができます。余った昇降コードをコードアジャスタに巻きつけてください。
- ⑦ ウェイトをコードアジャスタに引っ掛けてください。(バルーン、オーストリアンスタイルは大きいウェイトをそれぞれ両端のコードアジャスタに引っ掛けてください。)

※昇降コードの固定位置はもともとコードを巻きつけた所(あるいはペンで印をつけた所)を目安にしてください。



ピーコックスタイルの場合

- ① ヘッドレールに幕体を取付けてください。
- ② リングの小さい方の穴を最下部のループ部に取付けてください。
- ③ コードアジャスタを取付けてください。

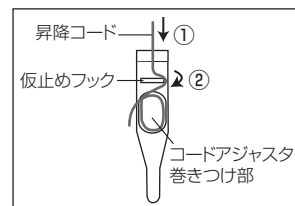
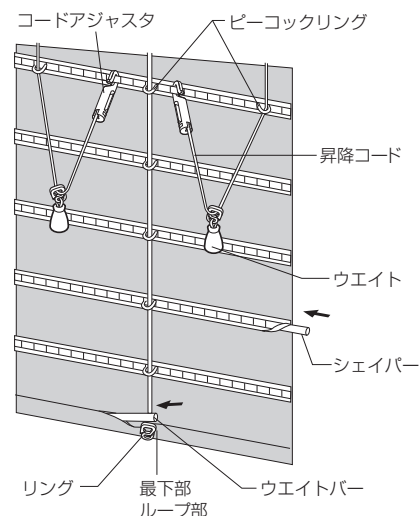
※コードアジャスタの取付けは、あらかじめシェイパーテープに付けた印の位置で行うようにしてください。

- ④ シェイパーをシェイパーテープに差し込んでください。
- ⑤ ウェイトバーを幕体に差し込んでください。
- ⑥ 真中の昇降コードをピーコックリングに通し、最下部のリングの大きい方の穴に結びつけてください。

※昇降コードを結びつける位置は、もともと結びつけていた所を目安にしてください。

- ⑦ コードアジャスタの上部から昇降コードを通し(①)、固定位置をコードアジャスタ上部に合わせてください。コードは、仮止めフックに引っ掛けて反対側の方向に振ると(②)仮止めができます。余った昇降コードをコードアジャスタに巻きつけてください。

※昇降コードの固定位置はもともとコードを巻きつけた所(あるいはペンで印をつけた所)を目安にしてください。



サイドバルーンスタイルの場合

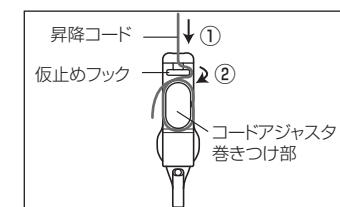
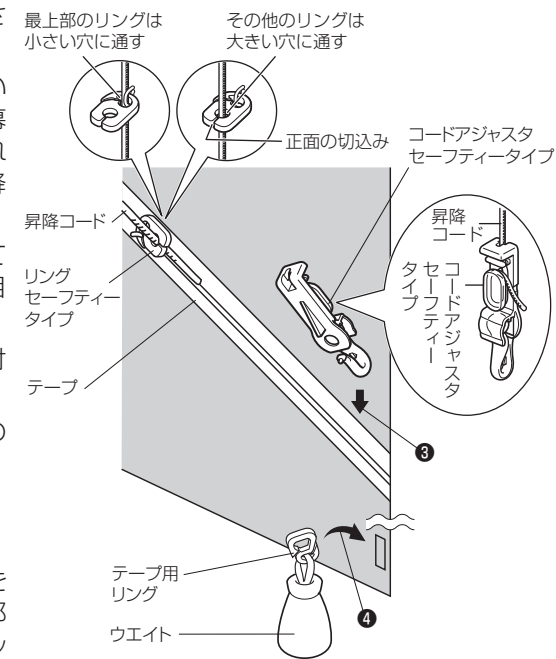
- ① 最上部のリングについては、リングの小さい方の穴に昇降コードを通してください。
- ② その他のリングについては、リングの大きい方の穴に昇降コードを通してください。幕体上部から順に通します。万が一通し忘れた場合には、リング正面の切込みから昇降コードを入れることもできます。

※取付ける位置は、もともとリングが付いていた所(あるいはペンで印を付けた所)を目安にしてください。

- ③ テープの最下部にコードアジャスタを取付けてください。
- ④ ウェイトに付けられたリングを幕体下部のテープに取付けてください。
- ⑤ ヘッドレールに幕体を取付けてください。
- ⑥ 昇降コードをリングに通してください。
- ⑦ コードアジャスタの上部から昇降コードを通し(①)、固定位置をコードアジャスタ上部に合わせてください。コードは、仮止めフックに引っ掛けて反対側の方向に振ると(②)仮止めができます。余った昇降コードをコードアジャスタに巻きつけてください。

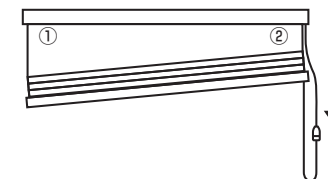
※コードアジャスタの取付けや、昇降コードを通すときは、あらかじめシェイパーテープに付けた印の位置でおこなうようにしてください。

※昇降コードの固定位置はもともとコードを巻きつけた所(あるいはペンで印をつけた所)を目安にしてください。



幕体の左右高さの調整方法

- ① 幕体取付け後、幕体を上げてみて、左右の高さが合っているかどうか確認してください。
- ② 合っていない場合は幕体を降ろした状態で、各昇降コードの張り具合が、同じになるよう次の手順で調整を行ってください。
 - ① 下がっている側のコードアジャスタに巻いている昇降コードを短めに巻き直してください。
 - ② 上がっている側のコードアジャスタに巻いている昇降コードを、長めに巻き直してください。



マーキングについてのおことわり

ローマンシェードの一部に縫製加工上のマーキングチャコ（紫色）が残っている場合があります。これは数日程で消えますが、気になる場合は水を付けた布でふくと早く消えます。

● マーキングが残っている場合の消し方

① 水をつけた布を軽くしぼります。

② マーキングが残っている箇所を布で軽くたたくようにして濡らします。

※ 綿等、縮みやすい素材は濡らしすぎないように注意してください。

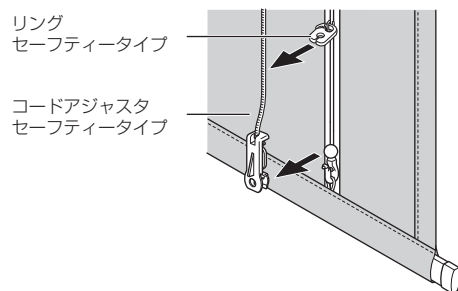
③ マーキングは水とともに蒸発します。

セーフティー仕様について

※セーフティー仕様（安全対策品）を使用しても、事故が完全に回避できるわけではありません。危険性を十分に認識したうえでご使用をお願い致します。

荷重による昇降コードの分離

- 昇降コードに一定の荷重がかかると幕体から昇降コードが外れます。

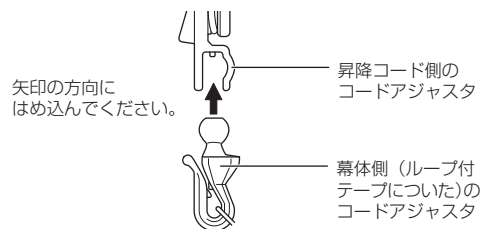


昇降コードが幕体から外れた際の戻し方

- ① リング正面の切込みから昇降コードを入れてください。



- ② 分離したコードアジャスタを元に戻してください。

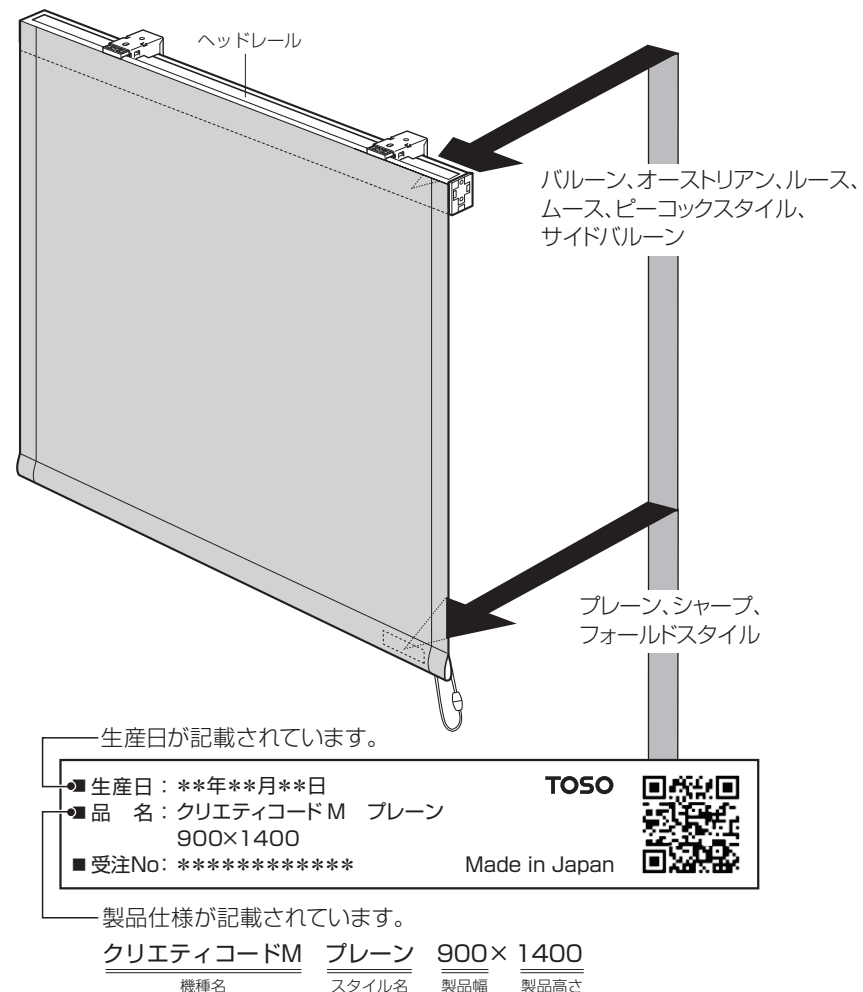


※ オーストリアンスタイル、ピーコックスタイルの場合は、セーフティー仕様になりません。

※ 両面仕様（オプション）、着脱テープ（オプション）をご使用の場合は、セーフティー仕様になりません。

メンテナンスシール

- お買い上げの製品には、操作側ウエイトバーまたはヘッドレール背面に製品情報を記載したメンテナンスシールを貼付しております。製品に関するお問い合わせや修理等の際にこのメンテナンスシールをご確認ください。



- メンテナンスシールにQRコードが印刷されている場合は、QRコード対応の携帯電話で撮影すると携帯サイトにアクセスでき、製品情報を入手することができます。

※ シール設置場所・QRコードへの汚れ・破損などにより、読み取れない場合もございますのでご注意ください。

梱包材の処理方法

- 梱包材は可燃ゴミと不燃ゴミに分別して処分してください。
- 各自治体により分別基準が異なりますので、それぞれの自治体の規定に従って処理してください。